



苅波 茂

10月17日に岡山市で開催された日本新聞協会主催の第59回新聞大会で、記念講演を行なう榮譽を得た。あらためて関係者に感謝したい。「人道支援におけるメディアの役割—AMDAの経験を通じて—」が演題だった。新聞の公共性について事例を説明した。

「公共性とは、なければみんなが困ること」である。ちなみに、「公益性とは、あればみんなの役に立つこと」である。新聞の公共性は二つある。一つは情報の「共有による連帯感の創出」である。もう一つは「時代の大きなうねりを説明するコンセプト」の提唱である。

1995年1月17日に発生し、6000人以上の死者を出した阪神淡路大震災被災者救援に、全国から100万人以上といわれたボランティアが神戸にかけつけた。AMDでも医療従事者や地域のボランティアの方々など延べ1500人がかわり、神戸市長田区中央保健所を拠点に、巡回診療や保健所内診療所で医療活動を実施した。

メディアは「ボランティア元年」と命名した。以後、「売名行為」という日本語が消滅した。何故か。阪神大震災以前の日本にボランティア精神はなかったのか。否。日本はボランティア大国だった。ただし、その形式が団体ボランティアだった。

地域コミュニティを守るために、町内会、婦人会、子ども会等々が無料ボランティア活動で支えてきた。地域ぐるみで組織ぐるみ特徴だった。個人で活動する異端者を売名行為と蔑視した。阪神大震災には個人の意思で、個人のお金と時間で活動する個人ボランティアが、団体ボランティアと共に社会的認知をされた。だから「ボランティア元年」なのである。

メディアが「ボランティア」という言葉を発信したのは、78年、カンボジア難民がタイに大量に逃げ込んだ時だった。79年から連日キャンペーンを張った。「欧米の若者がアジアでボランティア活動をしている。日本の若者にボランティア精神はないのか」と。医師だった私は、2人の岡山大学医学生とタイのカンボジア国境にあるカオイダン難民キャンプに行った。「善意だけでは何もできない」が結果だった。

80年に第1回「アジア医学国際会議(AMSC)」を開催した。医学生のネットワークを、将来のアジアの医療活動実施に発展させるためだった。84年、そのOBでアジア医師連絡協議会を発足させた。

新聞の公共性

岡山では「西のジュネーブ、東の岡山」のスローガンの下に、「おかやま国際貢献NGOサミット」が94年から10回開催された。メディアはその趣旨と県民活動を報道し続けて、岡山県は04年、都道府県レベルでは全国初となる「岡山県国際貢献活動の推進に関する条例」を制定した。岡山の精神風土のキーワードは「福祉」である。「国境を超える福祉」が岡山の意志となった。NGOとGO(政府)の決定的な違いが、法の制定である。

メディアの公共性は知性にある。知性とは理念、良識を以て常識の仮説を分析して、新しい時代を迎えるコンセプトを提唱することである。

メディアによるキャンペーン「日本の若者にボランティア精神はないのか」から20年目にボランティア活動が法として成立した。今やNPOの数は2方になるうとしていている。ボランティア活動を報道し続けたメディアなくして、NPO法の成立は考えられない。

岡山では「西のジュネーブ、東の岡山」のスローガンの下に、「おかやま国際貢献NGOサミット」が94年から10回開催された。メディアはその趣旨と県民活動を報道し続けて、岡山県は04年、都道府県レベルでは全国初となる「岡山県国際貢献活動の推進に関する条例」を制定した。岡山の精神風土のキーワードは「福祉」である。「国境を超える福祉」が岡山の意志となった。NGOとGO(政府)の決定的な違いが、法の制定である。

メディアの公共性は知性にある。知性とは理念、良識を以て常識の仮説を分析して、新しい時代を迎えるコンセプトを提唱することである。